



大阪市北区天満橋 1-8-75 桜ノ宮合同庁舎

TEL 050-3160-6763

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/>



センダンの花：大阪市内の公園

トピックス：山地災害に備える（治山課）

ニュース：総務課、治山課、石川森林管理署、山口森林管理事務所、
新規採用者紹介、新任幹部紹介

お知らせ：森林のギャラリーほか

花草木：ノースポール

我が署のスタッフ：滋賀森林管理署

森林事務所紹介：日原森林事務所（島根森林管理署）

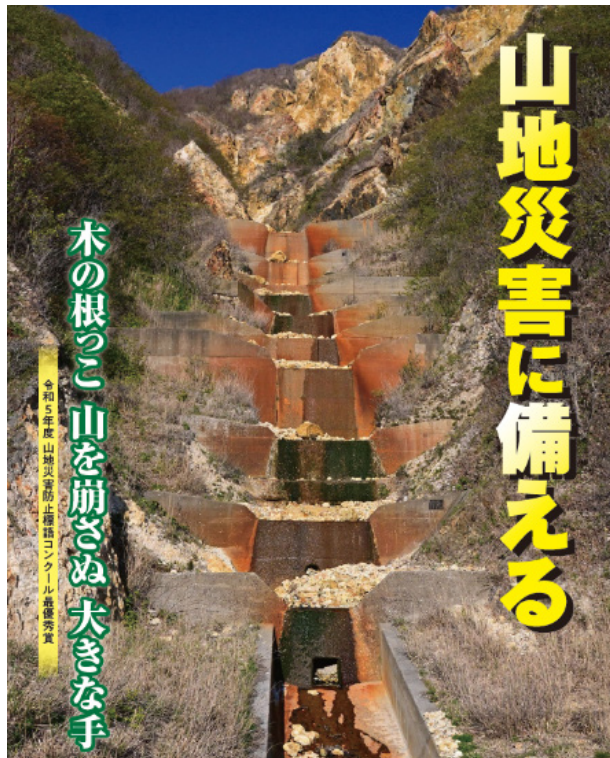
国有林最前線：兵庫森林管理署

「山地災害に備える」

令和6年度 山地災害防止キャンペーン

【治山課】

●令和6年度 山地災害防止キャンペーンポスター



元年～令和5年の5ヵ年平均)もの山地災害が発生する、災害大国でもあります。

日本の国土は険しい山地が続く複雑な地形のため、河川の幅が狭く急勾配の場所が多くなっています。また、年間降水量が世界平均の約2倍ときわめて多く、洪水等の水害が非常に発生しやすくなっています。加えて、大陸プレートと海洋プレートの境界に位置しており地震や火山活動も活発で、土砂災害も起こりやすいのです。

さらに近年、1時間降水量50mm以上の強い雨が短期間に繰り返し発生することも多く、未曾有の災害に見舞われた地域では、多くの人命や財産が失われるとともに、ライフラインの寸断といった甚大な被害が発生しています。

災害時に被害を少しでも減らすためには、一人一人が地域の災害リスクを理解し、適切な避難行動を行えるように日頃から準備しておくことが大切です。

そこで近畿中国森林管理局では、本格的な梅雨期を前に、毎年5月20日から6月30日にかけて「山地災害防止キャンペーン」を実施し、災害被害軽減に向けた啓発活動を行っています。

今回はこのキャンペーンの詳細と、山地災害防止に向けた取組をご紹介します。

●我が国の自然条件

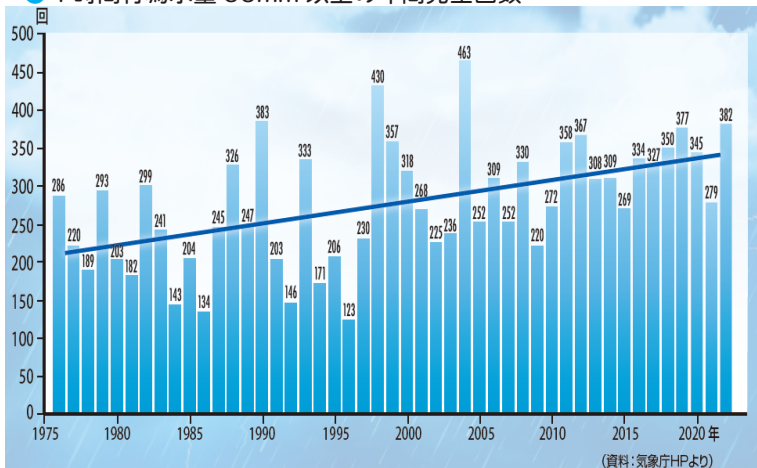
日本には山と海に囲まれた自然豊かな魅力があります。一方で、その独特な地形や気候条件から、毎年約1,600箇所(令和

●月別の降水量と山地災害発生箇所数



※月別平均降水量は、理科年表(平成15年)から作成山地災害発生箇所数(全国)は、令和5元年～令和5年の平均

●1時間行来水量50mm以上の年間発生回数



※全国のアメダス地点で1時間降水量が50mm以上となった年間発生件数(1300地点当たりの回数に換算)太線は5年移動平均値

●近畿中国森林管理局での取組

当局では、本キャンペーンの実施に併せて、山地災害防止を啓発するポスター掲示、パンフレットの配布といった広報活動のほか、関係機関や地域住民の方のご協力のもと、山地災害危険地区の周知やパトロールの実施など、山地災害に備えるための活動を行います。

また、キャンペーン期間以外も、日頃から山地災害防止に向けた治山対策を実施しています。

本年1月1日16時10分に発生し、甚大な被害をもたらした令和6年能登半島地震においては、発災当日に災害対策本部を設置、翌2日にヘリコプターによる被害状況調査及び石川県へのリエゾン派遣を行い、被害の早期把握に努めました。

1月中旬からは、石川県から人的支援について要請を受け、「能登半島地震山地災害緊急展開チーム」を編成して現地に治山技術者を派遣し、緊急点検や復旧方針の策定等に向けた支援を行っています。

特に大きな被害を受けた奥能登地域の輪島市及び珠洲市内の民有林では、石川県の要請により、国直轄による災害復旧等事業を実施することとし、4月1日に奥能登地区山地災害復旧対策室を開設、4月12日に開所式を行いました。今後も石川県内の関係機関等と連絡調整を図りながら、被災地の早期復旧に取り組んでまいります。

●おわりに

管轄範囲の広い当局では、いつどこで災害が起きてもおかしくないとの前提で必要な備えを強化していくことが重要と考えています。引き続き、治山対策等を通じて地域の安心・安全を確保し、災害に強い森林の再生に向けた取組に尽力いたします。

●昨年度の啓発活動の様子（左）近畿中国森林管理局（右）宍粟市役所



●令和6年1月2日

能登半島地震災害のヘリコプターによる被害調査



●治山技術の派遣（左）点検対象箇所の確認、（右）現地調査



●令和6年4月12日

奥能登地区災害復旧対策室 開所式



ニュース

令和6年度新規採用者の入庁式を行いました。

【総務課】

4月15日(月)、近畿中国森林管理局において、新規採用者22名の入庁式を行いました。

年度 近畿中国森林管理局



局長訓示の様子

新規採用者の皆さんは、國井局長から「皆さんの入庁を、心から歓迎します。森林は水を守り、国土を守り、生物の命をはぐくむ大切な役割を果たしています。

近畿中国森林管理局は、東は石川県から西は山口県まで、14の府県に所在する国有林の管理、運営に当たっており、1月に発生した能登半島地震の被災地においても今月から治山事業を開始しています。

困ったことは一人で悩まないようにして、上司、先輩に相談してください。

健康や安全にも十分

気をつけて職務に精励

してください」と入庁

のお祝いと各人への期待

について訓示を受け、

代表して福井署の江崎

代表して福井署の江崎



宣誓する新規採用者代表

帆佳さんが、「期待に添えるよう知識・技術の習得に努め、国民全体の奉仕者として業務に邁進する」との宣誓を行いました。

その後に行われた幹部との懇談では、配属先での近況などを話題として意見交換が行われました。

新規採用者の皆さんには、一日も早く職場に慣れ、心身共に健康で活躍頂けるよう願っています。

奥能登地区山地災害復旧対策室開所式の開催をしました。

【治山課・石川森林管理署】

近畿中国森林管理局は、令和6年4月12日に石川県金沢市内の石川県森林総合研究センター内開設してに奥能登地区山地災害復旧対策室において開所式を開催しました。

奥能登地区山地災害復旧対策室では、令和6年能登半島地震で被災した民有林における直轄による復旧対策の円滑な実施を図るため、石川県内の関係機関等と連絡調整を図りながら、輪島市及び珠洲市の民有林7箇所における国直轄による災害復旧等事業に着手し、被災地の早期復旧に取り組んでまいります。



局長挨拶



来賓挨拶(県農林水産部次長)



石川署長挨拶



対策室長 事業概要説明



奥能登復旧対策室 集合写真

動画ワーキングチームが作成した動画(R5)をホームページに掲載しました。

【総務課】



サムネイル画像

近畿中国森林管理では、国有林の役割や国有林野事業の各種取組について、広く国民の理解を得るためにホームページやメルマガによる情報発信に取り組んでいるところですが、令和5年度、広報活動のさらなる充実を図るため、「動画ワーキングチーム」（以下動画WT）を設置し、国民の皆様への情報発信を推進するとともに、人材の確保・育成にも資することを目的に動画WTに参加した29名の職員が動画の作成に取り組みました。



局内での打ち合わせの様子



撮影現場の様子



サムネイル画像

動画の内容は、近畿中国森林管理局の紹介のほか、若い職員ならではの感性で熱意とやる気が伝わる幅広い内容となっています。是非ご覧いただけましたら幸いです。これらの動画は、下記のホームページに掲載しています。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/koho/2023douga_r5.html



山口県OFによるボランティア活動の実施について

【山口森林管理事務所】

山口森林管理事務所では、葉桜の時期を迎えた4月18日（木）、城山国有林（岩国市横山）において、山口県オールドフォレスターの会（以下OF会^{*}）と今年度第1回目となるボランティア活動「in城山国有林タケノコ除去作業」を実施しました。

当日は、OF会員4名、地元横山地区住民1名と当所職員10名の計15名が参加しました。

城山国有林に隣接する住宅地との境界付近に、この春生えてきたタケノコの除去作業は、竹林の整備を目的に令和3年度から継続的に行っています。タケノコを早期に除去することにより、竹林が周辺の森林を被圧することを防ぎ、^{きんたいきょう}錦帯橋の借景となる自然休養林の景観の保全につながるとともに、隣接する住宅地への拡大抑制にもつながります。山口県は全国の中でも多くの竹林面積を有しており、竹林整備対策が重要な課題になっています。当日は、竹林整備の大切さを再確認でき、心地良い汗を流した1日でした。

※OF会とは管内の森林管理署等の退職者で構成された団体で、国有林をフィールドとしたボランティア活動を通じて国民参加の森づくり活動に貢献しています。



作業終了後の集合写真

今年度の新規採用者を紹介

令和6年度近畿中国森林管理局の新規採用者は22名です。

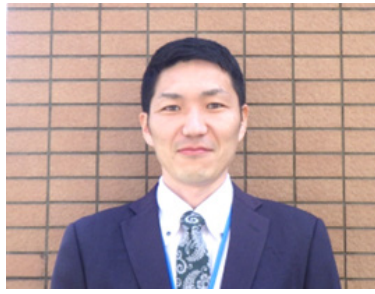
4月15日に局において入庁式を行い、続けて4月16日～17日の2日間、新規採用者対象の研修を受講しました。

現在それぞれの配属先で頑張っています。

皆様よろしくお願いたします。



1



- ①所属：(企画調整課) 計画課 経営計画官
- ②氏名：西尾 拓真
- ③抱負：素直に学び、国有林の管理経営に貢献できるよう努めてまいります。

2



- ①所属：経理課
- ②氏名：川村 真琴
- ③抱負：一つ一つの業務に誠実に取り組むことにより、国民のみなさまの安全なくらしや円滑な組織運営に貢献できるよう努めて参ります。

3



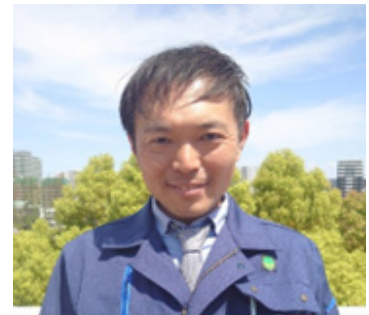
- ①所属：経理課 経理第二係長
- ②氏名：田中 将宣
- ③抱負：これまでの経験を活かし、少しでも早く貢献できるように頑張ります。

4



- ①所属：経理課 主計係長
- ②氏名：橋詰 浩人
- ③抱負：経理事務を早く覚えて、楽しみながら仕事をしていきたいと思ひます。

5



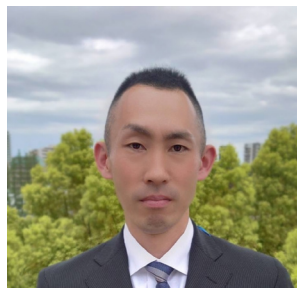
- ①所属：保全課 保護係長
- ②氏名：樋爪 哲也
- ③抱負：自治体での業務経験を活かして、森林資源の保全に努めてまいります。

6



- ①所属：保全課 森林利用係長
- ②氏名：宮部 洋子
- ③抱負：責任と誇りを胸に、早く貢献できるよう1日1日の学びを着実に積み重ねて参ります。

7



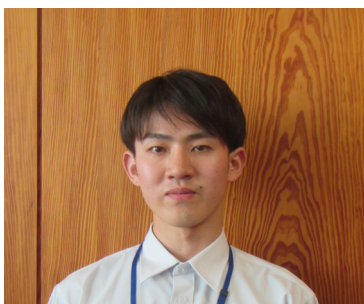
- ①所属：森林整備課 企画係長
- ②氏名：高橋 祐貴
- ③抱負：即戦力として貢献できるように、一生懸命頑張ります。御指導ご鞭撻の程、宜しくお願致します。

8



- ①所属：京都大阪森林管理事務所、業務G
- ②氏名：松永 純弥
- ③抱負：日々の業務にしっかりと向き合い、少しでも多くのスキルを身に付けられるよう日々精進していきたいと思ひます。

9



- ①所属：山口森林管理事務所、業務G
 ②氏名：新岡 連太郎
 ③抱負：一日一日の業務を大切にし、日々精進します。

10



- ①所属：福井森林管理署、業務G
 ②氏名：江崎 帆佳
 ③抱負：自分の仕事に責任をもって取り組みたいです。よろしくお願いします。

11



- ①所属：福井森林管理署、治山G
 ②氏名：湯地 純子
 ③抱負：知識も技術も貪欲に習得していきたいです。よろしくお願いいたします。

12



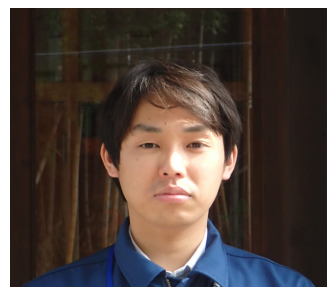
- ①所属：三重森林管理署、治山G
 ②氏名：杉田 樹莉愛
 ③抱負：自然と共に一日一日を大切に向着いていきたいと思えます。よろしくお願いします。

13



- ①所属：三重森林管理署、業務G
 ②氏名：田中 廉大
 ③抱負：自ら積極的に行動し、ひとつひとつの学びを大切にして日々の業務に取り組みます。

14



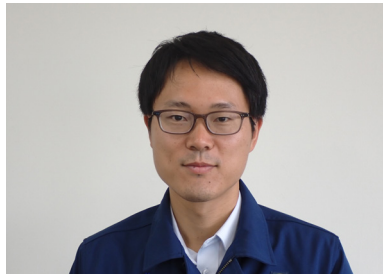
- ①所属：滋賀森林管理署、総務G
 ②氏名：高橋 正海
 ③抱負：一つ一つの業務に丁寧に取り組んでいきます。

15



- ①所属：兵庫森林管理署、業務G
 ②氏名：永田 晴規
 ③抱負：基本的な知識や技術を習得し、一人前の職員になれるよう精進します。

16



- ①所属：和歌山森林管理署、治山G
 ②氏名：正司 康智
 ③抱負：一人前の職員になれるよう、日々学んでまいります。

17



- ①所属：鳥取森林管理署、総務G
 ②氏名：山下 綾音
 ③抱負：分からないことが多いですが、自分のペースで少しずつ着実に仕事を覚えたいです。

18



- ①所属：鳥取森林管理署、治山 G
- ②氏名：富田 光祐
とみた こうすけ
- ③抱負：まだまだ勉強不足で分からない仕事が多いですが、日々成長し、国民の方々に寄与できるよう頑張ります。

19



- ①所属：島根森林管理署、業務 G
- ②氏名：新藤 楽人
しんとう がくと
- ③抱負：様々な業務を経験する中で、林業に関する知識・技術を習得し、即戦力となるよう日々頑張ります。よろしくお祈いします。

20



- ①所属：岡山森林管理署、業務 G
- ②氏名：山本 大介
やまもと だいすけ
- ③抱負：初めて林業の世界に足を踏み入れますが、少しでも早く戦力になれるよう精一杯努力いたします。

21



- ①所属：広島北部森林管理署、総務 G
- ②氏名：永見 優衣
ながみ ゆい
- ③抱負：分からないことばかりなので、先輩方に教えていただきながら、一つ一つ仕事を覚えていけるよう頑張ります。

22



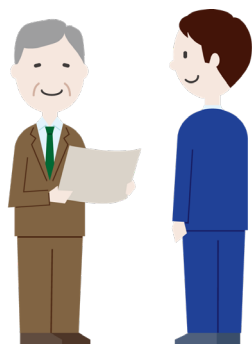
- ①所属：広島森林管理署、業務 G
- ②氏名：片山 樹
かたやま いつき
- ③抱負：いろいろな現場、業務を経験し、様々な場面にしっかりと対応できる人材となるよう頑張ります。



入庁式での集合写真

令和6年度の新任幹部を紹介

4月1日付けで局内7名、署等で6名、合計13名の課長、所長以上の幹部の人事異動がありましたので、紹介します。



1



- ①所属：次長
- ②氏名：川浪 亜紀子（かなみ あきこ）
- ③前任地・役職：関東森林管理局森林整備部 部長
- ④抱負：国有林が地域の皆さまから「あってよかった」と思っ
ていただける存在になれることを目指して職務に取り
組んでまいります。

2



- ①所属：総務企画部 総務課 課長
- ②氏名：中村 彰男（なかむら あきお）
- ③前任地・役職：計画保全部保全課 課長
- ④抱負：新たな部署で心機一転、謙虚な気持ちで頑張
ります。

3



- ①所属：総務企画部 経理課 課長
- ②氏名：筒井 尚（つつい ひさし）
- ③前任地・役職：総務企画部企画調整課 監査官
- ④抱負：風通しの良い明るい職場と円滑な会計・経理
事務に努めてまいります。

4



- ①所属：計画保全部 保全課 課長
- ②氏名：清水 勝成（しみず かつなり）
- ③前任地・役職：総務企画部総務課企画官（安全衛生担当）
- ④抱負：風通しの良い職場づくり、笑顔の絶えない職
場づくりに努め、円滑な業務遂行を目指します。

5



- ①所属：森林整備部 森林整備課 課長
- ②氏名：草深 和博（くさふか かずひろ）
- ③前任地・役職：森林技術・支援センター 所長
- ④抱負：森林整備に係る各種事業を円滑に遂行す
るとともに、明るい職場づくりに努めてまいり
ます。

6



- ①所属：森林整備部 資源活用課 課長
- ②氏名：長屋 秀樹（ながや ひでき）
- ③前任地・役職：島根森林管理署 次長
- ④抱負：木材の安定供給を通じた地域林業への貢献に取り組めます。

7



- ①所属：森林整備部森林技術・支援センター所長
- ②氏名：上野 康史（うえの やすし）
- ③前任地・役職：森林整備部技術普及課 企画官
- ④抱負：「新しい林業」の実現に向け、造林の低コスト化等の技術開発、民有林関係者への普及に取り組めます。

8



- ①所属：福井森林管理署 署長
- ②氏名：溝部 進（みぞべ すすむ）
- ③前任地・役職：総務企画部総務課 課長
- ④抱負：円滑に業務が遂行できるよう、情報共有、コミュニケーションの向上に努めてまいります

9



- ①所属：兵庫森林管理署 署長
- ②氏名：古藤 信義（ことう しんぎ）
- ③前任地・役職：林木育種センター関西育種場長
- ④抱負：職員がいきいきと安心して働ける、活気ある職場づくりに努めてまいります。

10



- ①所属：和歌山森林管理署 署長
- ②氏名：澤井 良一（さわい りょういち）
- ③前任地・役職：関東森林管理局中越森林管理署 署長
- ④抱負：風通しのよい職場づくりを心掛けながら、大規模災害復旧や獣害対策など、地域に根差した取り組みを進めて参ります。

11



- ①所属：鳥取森林管理署 署長
- ②氏名：寺岡 猛（てらおか たけし）
- ③前任地・役職：福井森林管理署 署長
- ④抱負：地域の皆さんから「国有林、森林管理署があつて良かった」と喜んでいただけるよう取り組みます。

12



- ①所属：岡山森林管理署 署長
 ②氏名：山崎 準 (やまさき ひとし)
 ③前任地・役職：森林保険センター保険業務部長
 ④抱負：明るく風通しの良い職場づくり、国有林を活用した地域課題の解決に取り組みます。

13



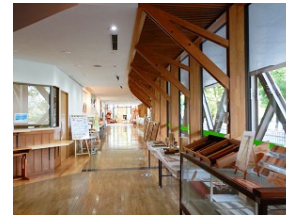
- ①所属：広島森林管理署 署長
 ②氏名：里見 昌記 (さとみ よしき)
 ③前任地・役職：関東森林管理局塩那森林管理署 署長
 ④抱負：明るく楽しい職場づくりと「新しい林業」の具体化に取り組んでいきたいと思ひます。



局庁舎 (2024.04.05)

お知らせ

森林のギャラリー (局庁舎1階)



【技術普及課】

○森林のギャラリーでは、京都府、管内林業大学校等、近畿地方環境事務所による展示を5月13日(月)～6月5日(水)に予定しています。展示内容は下記のページでお知らせしています。

<http://www.rinya.maff.go.jp/kinki/policy/business/sitasimou/gallery/index.html>



【技術普及課】

○令和6年度の現地検討会開催予定をお知らせしています。下記ページの令和6年度ファイルをご覧ください。

<https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/sidou/foresuter/nendobetu.html>



【箕面森林ふれあい推進センター】

○令和6年度「森林ふれあい推進事業」のイベント実施団体を公募しています。募集期間は令和6年5月31日(金)までです。

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/apply/publicsale/minoo_fc/240411.html



【森林技術・支援センター】

○職員フォト(職員が目にした自然の光景や行事の風景など)を随時更新しています。(2024.04.11更新)

https://www.rinya.maff.go.jp/kinki/g_center/photo.html



花草木

【ノースポール】

ノースポール学名：Leucanthemum paludosum (Chrysanthemum paludosum) 和名：ノースポールギク
ノースポールは、径3cmほど中心が黄色の白いキク科の一年草です。花期が長く育てやすいことで人気の一年草です。

比較的寒さに強く、関東地方以西の平地では秋にタネをまけば、防寒しなくても冬越しでき、冬から初夏まで花を楽しむことができます。株はポール状に育って、最盛期には株一面に花を咲かせます。

ノースポールの花言葉は「誠実」「高潔」「冬の足音」「輪廻転生」



滋賀県内の平地で咲いていたノースポールの花

我が署のスタッフ 滋賀森林管理署 幸前 克昌 (こうぜん かつまさ) (令和5年度採用)

【現在取り組んでいる仕事は？】

治山グループ係員として、工事の設計・物品管理・様々な手続きの事務など、幅広く仕事に取り組んでおります。採用2年目に差し掛かり、徐々に仕事にも慣れてきましたので、自分のできることを精一杯こなし、グループ全体で今年度の治山・林道事業をこなせればと思います。

【職場の雰囲気は？】

職場は話しやすい環境で、疑問を投げかけても必ず返してくれますので安心しております。一人一人が人を思いやれる方が多く、気持ちよく仕事できております。また、若手職員は新しい知識を得る機会が多く、積極的に研修に参加しているので新しい挑戦がしやすい職場でもあります。

【林野庁の魅力は？】

デスクワークだけでなくフィールドワークがある点が良いところだと思います。仕事において、パソコンと向かい合って仕事するだけではなく、山と向かい合って仕事しますので自然や体を動かすことが好きな方にはぴったりな仕事だと実感しております。



崩壊地（事業地）の確認中

森林事務所紹介

日原森林事務所（島根森林管理署）

地域統括森林官 赤木 直樹（あかぎ なおき）

日原森林事務所は島根県西部の鹿足郡津和野町に所在しています。国有林のほとんどは、ダムの無い一級河川として知られる清流高津川の源流域となっています。

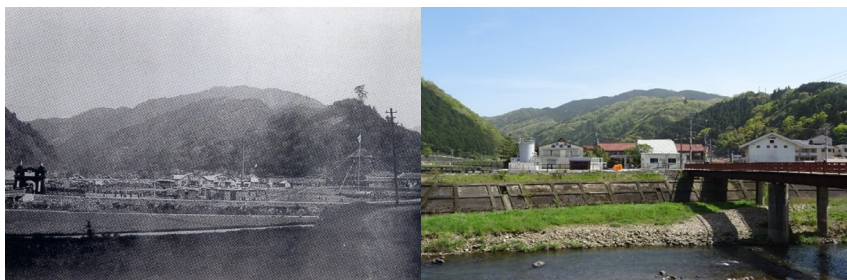
地域と森林管理署の係わりは古く、森林事務所周辺の写真が残されているので幾つかご紹介します。

明治43年、日原小林区署庁舎竣工式の様子です。近在の首長はじめ来賓列席の記念写真です。現在の森林事務所の近くに大きな庁舎がありました。



日原小林区署庁舎竣工式（明治43年）

同じく明治43年、日原製材所の写真です。当時の官有製材工場は秋田と九州の人吉、中国地方ではここだけの大規模製材工場でした。



日原製材所（明治43年と現在の様子）

背景の山の稜線は今も昔と変わらない風景となっています。

また、この地域はケヤキの一大産地として有名で、伐採された原木はトラックで駅まで運び出され、現在のJR山口線日原駅の近くにあった日原営林署専用のプラットホームから列車で関西方面へ出荷されていたとのこと。残された写真でしか振り返ることの出来ないものばかりですが、山には先人たちが設置した境界標*をみることができます。



トラックで運搬されるケヤキ原木

古い境界標は天然の岩石に境界を表す文字・数字を刻字したものもあり、立会の際に驚かれることもあります。

先人たちが測量し埋設した国有林の境界を今後も適切に管理してまいります。



天然岩石の境界標



日原営林署専用のプラットホーム

※境界標：国有林と民地の境界を明示するために設置した標識のことで、文中の天然の岩を利用したもの他、コンクリート標識等いろいろな種類があります。国有林ではこれらの境界標により境界の管理を行っています。

シリーズ『国有林 最前線！』

シカ防護柵の課題と対策について

兵庫森林管理署

兵庫県内の木材生産に適した国有林の多くが県北西部の多雪地域に所在しています。これら地域はシカの生息密度が高く、再造林では防護柵を用いた被害対策が重要です。しかしながら、積雪のため冬季から春先にかけて防護柵の補修を行うことができず、次世代の森林を更新するうえで大変困難な状況にあります。

多雪地域では、特に次の課題に対処する必要があります。

- ①積雪や劣化でネットの上張りロープが切損や伸長し、ネットが弛むこと。
- ②急傾斜地や谷地形では積雪等の移動により防護柵支柱が折損・転倒すること。

令和4年度に前述の課題克服を目的に、防護柵の強度を向上させる試行を行いました。

これまで上張りロープにはポリエチレン製の太さ8mmのロープを使用していましたが、これを太さ4mmのワイヤーに変更。支柱にはスーパーライトポールに替えて引っ張り強度が約2.3倍の鋼管を用いました。

一冬を越え確認したところ、上張りワイヤーの切損や伸長、支柱の折損や転倒はなく、谷地形箇所でも1本傾斜したのみで、高い強度が証明されました。



鋼管とワイヤーの組合わせ

試行地でのコスト試算では、防護柵の強度を生かしネット高の確保が容易な場所では、支柱間の間隔を従来型の約2倍の距離で施工したこともあり、支柱本数が減少し運搬重量は22%軽減、従来型の施工費と比較して10%のコスト低減となりました。

引き続き低コストで積雪に強い防護柵の仕様を目指して取り組みを行ってまいります。



ネット継ぎ目と施工状況



テンション機材と施工状況